

〈弘道館〉徳川慶喜肖像画・下絵特別公開及び記念講演会の開催について

本年（2018年）は、大政奉還後の明治元年（1868）に江戸幕府最後の将軍・徳川慶喜が弘道館至善堂で謹慎をして150年を迎えることから、弘道館が所蔵している歴史画「徳川慶喜肖像画」を7年ぶりに公開いたします。この肖像画を描いた羽石 光志は、昭和に活躍した歴史画家の1人で、今年が没後30年に当たります。また、新たに羽石家からこの肖像画の下絵が寄贈されましたことを記念し、初公開いたします。

あわせて、水戸藩を中心とした幕末維新史の研究者をお招きして、慶喜と弘道館をテーマにした講演会を開催いたします。

つきましては、イベントの告知文掲載や現地のご取材について、ご協力願います。

記

1 羽石 光志 筆「徳川慶喜肖像画」及び下絵 特別公開

（1）日時

平成30年4月13日（金）～15日（日）
9時～17時（※最終日は16時まで）

（2）場所

弘道館至善堂（水戸市三の丸1-6-29）

（3）展示内容

羽石 光志 筆「徳川慶喜肖像画」1点・下絵（寄贈資料）5点

期間中は展示解説（①10時～、②14時～（約30分））があります。

（羽石 光志 筆「徳川慶喜肖像画」）

* 羽石 光志（1903～1988）

（1965（昭和40年）頃制作）

栃木県芳賀郡に生まれる。小堀 鞆音、安田 鞆彦に師事。安田鞆彦の画風を継ぎながら、衣装考証に基づく歴史画を数多く描いた。日本美術院評議員、理事を歴任。「伴大納言絵巻」模写や法隆寺金堂壁画再現模写事業などに参加し、本国の美術振興に多大な足跡を残した。



（羽石 光志 筆「徳川慶喜肖像画」）

2 記念講演会「徳川慶喜と明治維新」

（1）日時

平成30年4月22日（日）13時30分～15時まで

（2）会場

弘道館至善堂（水戸市三の丸1-6-29）

（3）講師

江戸崎総合高等学校教諭（前茨城県立歴史館 主任研究員） 由波 俊幸 氏

（4）定員

100名（整理券制）*当日の12時45分から整理券を配布いたします。

3 主催

水戸土木事務所偕楽園公園課 弘道館事務所

4 参加費

無料（観覧料別途）

■ 車でお越しの際は、弘道館駐車場又は茨城県三の丸庁舎駐車場をご利用ください。

■お問い合わせ■

都市整備課 佐藤 （電話 029-301-4660）
弘道館事務所 小坪 （電話 029-231-4725）